

# ロクマル

市議会だよりさいたま | No.89 2022.2.1

ロクマル = 60 60人の議員は市民の代表。さいたま市議会の動きをコンパクトに伝えます。

## 議会ってどんなトコ?

主権者教育の一環として、小学生が市議会を訪問。  
議会棟探検や、議員への質問の様子をご紹介します。





# 議会棟を探検!

さいたま市議会にやってきました!

到着!  
楽しみだ  
わくわく

- 見学日・見学者
- 11月9日(火)  
神田小学校  
6年生(66人)
  - 11月16日(火)  
大戸小学校  
6年生(67人)
- 📷 今回はこの2校にスポットを当ててご紹介します

## 議長室



キャー  
記者会見  
みたい!

議長席の  
背もたれ  
高いなあ

## 委員会室



少人数でよきめ細かく  
専門的に話し合う場所です。

学級会も  
こんな感じ!

学校の図書室に  
こんな厚い  
本はないな

議長と副議長は、議員の中から議員による選挙で選ばれます。議長室では、来客の対応や打合せなども行います。



いい眺め!  
全部見えるわ

## 傍聴席

議員席よりも後ろの高い位置から議場内でのやりとりを見ることができます。

## 議会図書室

議員が調査研究するための図書や資料が約5,000冊あります。



## 登退庁盤

議員は、登庁した時にこの登退庁盤の名札を点灯させます。

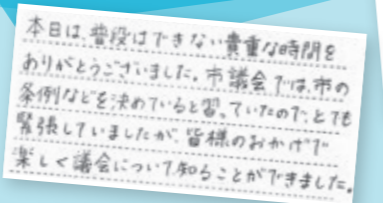


わあ、  
今日は私たちの  
クラスもあるよ!

# 議会云って どんなトコロ?

令和3年11月、主権者教育の一環として小学生がさいたま市議会を訪れました。

参加した児童から、こんな感想が届きました!



## 感想カードより

- 自分が住んでいる市の政治を身近に感じられて、とても良い機会でした。
- 私たちのためにたくさんのことを考えてくれていて、とてもありがたいです。
- 市民のことを思った目標を立て、それに向かって頑張っていることがわかり、すごく感動しました。
- ほかも時間があつたら会議の様子を見てみたい、政治について調べたいなと思いました。

“貴重な経験ができ、思い出になりました。ありがとうございました。”

## 議員さんに質問!

素朴な疑問から鋭い質問まで。議会の大切な役割がわかったかな?

- Q 議会がない時は何をしていますか? A 調べ物や市民相談など、ない時のほうが仕事は多いです。
- Q 議員になってやりがいを感じることは? A 仕事の評価がダイレクトに返ってくることです。
- Q 議長室ではどんなテレビを見るのですか? A 自分が出席しない委員会の映像などを見ています。
- Q これからの目標はありますか? A 未来を担う若い人の声を生かせるようにしたいです。

質問には、議長・副議長および文教委員会の委員長・副委員長が答えました。

## 私たちも学んでいます!



5月20日(木)  
春里中学校  
3年生(221人)  
● 模擬選挙を通じて政治のしくみを学びました。

9月6日(月)  
大原中学校  
1~3年生(53人)



● インターネット議会中継で本会議を視聴しました。



11月8日(月)  
与野南小学校  
6年生(44人)  
● 昨年度に続き、今年も6年生が議会体験や議会棟見学をしました。

さいたま市議会では、未来を担う子どもたちに市議会を身近に感じ関心を持ってもらえるよう、今後も積極的に協力していきます。



委員会提出議案第3号 さいたま市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について  
委員会提出議案第4号 さいたま市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

## オンラインを活用した委員会の開催が可能に

新型コロナウイルス感染症のまん延を予防する措置により委員が委員会開催場所に参集することが困難な場合に、オンラインでも委員会が開催できるよう条例および規則を改正するための議案が議会運営委員会から提出され、可決されました。

さらに、議長から議会改革推進特別委員会への諮問が行われ、同委員会では大規模災害時など新型コロナウイルス感染症以外の理由によるオンライン委員会開催の可否や、実際の運営上における課題についての検討を進めていくこととなりました。



議案第147号 令和3年度さいたま市一般会計補正予算(第10号) ほか5議案

## 新型コロナの再拡大への対応などを図る 補正予算議案を可決

感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備や経済対策のほか、DX\*(デジタルトランスフォーメーション)の推進、35人学級への対応などに要する経費について、市長から総額360億円を超える令和3年度の補正予算議案が提出され、可決されました。

\*DX…デジタル技術の活用による新たなビジネスモデルの創出や柔軟な変更を行うこと。

### <主な事業>

- 新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査体制の継続
- 抗体カクテル療法を要する患者等の移動支援
- 救急業務に際して不足する感染対策用資器材等の配備
- 子育て世帯への対象児童1人10万円の特別給付金の一括支給
- 住民税非課税世帯等への1世帯10万円の臨時特別給付金の支給
- 市内宿泊施設に割引価格で宿泊できるキャンペーンの実施
- マイナンバーカードの申請サポートや交付窓口の拡充、マイナポイントの手続き支援
- 小学3年生の35人学級実施による学級増に伴う教室の改修や物品の購入



12月定例会で審議された議案 ▶ 市長提出議案32件、委員会提出議案2件 / 合計34件



# 議員のQ&A 市のA

12月定例会「一般質問」ダイジェスト

すべての質問の様子は、右の二次元コードから、インターネット議会中継（録画配信）でご覧になれます。



## 一般質問

16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

### 質問者

浜口健司／川村 準／関ひろみ  
川崎照正／出雲圭子／帆足和之  
新井森夫／神田義行／吉田一郎  
松本 翔／新藤信夫／久保美樹  
阪本克己／照喜納弘志／桶本大輔  
服部 剛



### 市の政策・行財政

子どもの権利を守るため  
積極的に取り組むべき

Q

子どもの権利は、子ども自身と社会が理解し、その権利を守ることが重要である。そのための施策や子どもの権利を擁護する制度の導入を求めるが、市の見解を伺う。

A

本市では、「未来を担うすべての子ども・青少年が輝いて生きられるまち」を基本理念に据え、「子どもがつくるまち」や「子どもの提案」などの事業を展開している。児童の権利条約については、市ホームページなどの広報媒体を活用するとともに、児童養護などの関連団体を通じて広く周知を図っていききたい。また、市ではじめの防止などに関連する機関や団体などの連携促進を進めているが、子どもの権利に関する第三者機関の設置についても、県の機関の活動状況や他自治体の事例なども参考に、幅広く研究していきたい。

デジタル弱者の救済のため  
市は十分な取組みを

Q

行政手続きのオンライン化など社会のデジタル化が進む中、デジタル技術を使いこなせる方との格差解消のため、市はどのような取組みをしているのか。

A

本市では、地域のICTの相談役となる「地域ICTリーダー」の育成や、公民館と連携した市民向けのスマートフォン講座の開催などを実施している。さらに令和3年10月からは、国の「デジタル活用支援推進事業」を活用し、民間事業者と連携してスマートフォンの使

デジタル化から取り残される方のないよう  
行政によるサポートも大切な取組み

い方などの相談会や講習会を浦和・見沼・南区役所で実施している。今後も地域ICTリーダーや民間事業者と連携を図りながら、デジタルに不慣れな方々への対応の充実に、引き続き取り組んでいきたい。

Q

現庁舎の跡地を活用し  
「さいたま市立大学」の設立を

本庁舎を移転する場合には、跡地利用の議論が必要となる。浦和の経済を維持し、文教都市のシンボルとするためにも、「さいたま市立大学」を設立してはどうか。

A

新庁舎整備等基本構想（素案）においては、現庁舎地の利活用について、「文教都市を象徴するもの」「地域経済の活性化等に資するもの」として、基本理念に位置付けている。市民からの意見聴取においても、浦和駅周辺地域の経済の活性化に資することが大切だという意見や、現庁舎地への大学やリカレント教育に資する施設の誘致・設置など教育分野に関する意見も複数いただいている。現

### \*リカレント教育

学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれのタイミングで再び教育を受けること。

庁舎地の活用については、ほかにも様々な意見があるため、議員の提案も十分に踏まえ、引き続き市民の意見を伺いながら検討していきたい。

### 本庁舎移転に対する住民の声 市に届いているのか

**Q** 新庁舎整備構想の素案が公表されたが、浦和区自治会連合会などから本庁舎移転の経緯を詳しく聞いていないとの声がある。素案は住民の意見を聞いて作成したものか。

**A** 整備構想の素案策定に当たっては、市民をはじめ在勤・在学者なども含めた多様な関係者に対し、市報やホームページ、自治会回覧などで市の方針を周知するとともに、パブリック・コメントやタウンミーティングなどで広く意見を伺い検討を進めてきた。令和3年2月に示した新庁舎整備と現庁舎地利活用の方向性は、本市の未来を見据えた全学的なまちづくりの観点を踏まえたものであり、様々な手法で周知し、エリアに関わらず広く意見を伺っ

てきた。今後も市の方針を丁寧に発信し、ご理解いただけるよう努めていく。

### 本庁舎の移転問題 すべて移転ありきで性急では

**Q** 本庁舎が移転すると浦和のまちは一変する。人流変化による経済的影響は調査したのか。生活に関わる重大な政策の進め方としては、住民不在ではないか。

**A** 人流変化の予測については、本庁舎移転に加え、現庁舎地利活用による影響も踏まえる必要があるため、現時点での調査は難しい。現庁舎地利活用の具体化の際には、周辺店舗などへの影響にも配慮し、丁寧に説明しながら進めていきたい。本庁舎の在り方については、合併協定書を踏まえ、長年にわたり様々な観点から検討を積み重ねてきた結果として方針を示したものである。多くの市民から意見を伺いながら検討してきたものであり、性急に進めてきたとは考えていない。引き続きしっかりと説明しご理解い

ただけるよう努めていく。

### 本庁舎移転の確定後に 現庁舎の利活用を検討すべき

**Q** まずは本庁舎移転を確定した後に、浦和駅周辺まちづくりビジョンの具体化を進め、市民や事業者、有識者などの意見をじっくり聞いて跡地の利活用を検討すべきでは。

**A** 現庁舎地の利活用は、その開始が現庁舎の解体後であることや、民間機能の複合や誘致、公民連携手法による整備などを含めて検討していくことから、令和4年度から5年間で計画骨子の策定、令和9年度から5年間で計画の策定と手続きの開始を考えている。また、(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンについては、令和4年度の策定を予定しており、今後、まちの将来像の具体化に向けた取組みを推進していく。いずれの取組みについても、各段階において、地元を含めた市民や事業者、学識経験者などからしっかりと意見を伺い、検討を深めていきたい。

### 拉致被害者の救出を願う 「ブルーリボン」の着用を

**Q** 北朝鮮による人権侵害問題に対する認識を共有するため、拉致被害者救出のシンボルである「ブルーリボン」の着用にも取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 本市では、拉致問題について広く市民の関心と認識を深めるため、毎年「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせ、市報や市・区役所での看板・ポスターによる啓発に努めている。令和3年11月の「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」では、啓発週間におけるブルーリボン着用が決議文に盛

「拉致被害者の早期救出」をリボンに託し  
その強い意思と願いを胸元に表す







福祉・保健・医療

り込まれており、本市としても、ブルーリボン着用により拉致被害者救出の意思を示すことの検討を、今後進めていく。

帯状疱疹予防接種の周知と助成制度の創設を

Q

帯状疱疹で苦しむ人が多いため、予防接種の有効性を市民に積極的に周知すべき。また、接種料が高額であることから、補助制度を創設してはと考えるが、市の見解は。

A

帯状疱疹予防接種は、国において「定期接種化を検討中のワクチン」の一つに挙げられており、その有効性や安全性などの観点から定期接種化の是非が検討されている。独自の助成制度がある自治体もあるため、引き続き国の動向を注視していきたい。また、帯状疱疹の罹患者が増加傾向にある中、その知識や治療法、ワクチンの情報などを、発症しやすい世代に広く周知を行うことは大切に

考えている。今後、疾患の流行状況や国の専門家による議論の動向などを踏まえつつ、情報発信の在り方を検討していく。

新型コロナウイルス第6波に備え医療体制のさらなる拡充を

Q

新型コロナウイルス対策で医療崩壊を招いた第5波では、病床確保は300程度だったが、次の感染拡大に備えて2倍3倍の病床確保や臨時的な医療施設の準備を進めるべきでは。

A

第6波に備えた医療体制の拡充については、都道府県が新たに「保健・医療提供体制確保計画」を整備し、切れ目なく対応していくこととなっている。本市としても、市立病院での確保病床の増床を検討するほか、市独自の「入院病床確保等事業補助金」を市内医療機関に引き続き交付することで、さらなる病床確保に努めていく。また、臨時の医療施設は都道府県が開設することとされているが、本市としても県の措置に対し、必要に応じ設置場所の選定などに積極的に協力していく。

障がい者を支援する  
\*相談支援専門員の増員を

Q

相談支援専門員による計画相談支援の利用者が増加し、現場の負担が大きくなっている。きめ細かい支援を行うため、積極的に増員し、その配置計画を定めるべきでは。

A

相談支援専門員の資格要件として、福祉現場での実務経験のほか、都道府県が行う相談支援従事者研修の受講が必要となる。埼玉県による研修は、受講希望者は多いものの、講師の確保が難しいため、相談支援専門員が増えない原因となっていると考える。本市も増員

個々の障がい者に最適な支援ができるよう体制のさらなる充実が求められている

は必要と認識しており、県と相談し検討していきたい。また、その配置計画について、市障害者総合支援計画に定めることを含め、検討していきたい。

すべての「赤ちゃんの駅」に授乳室を設置しては

Q

すべての「赤ちゃんの駅」で、おむつ交換だけでなく授乳もできるようにすべき。また、おむつやウエットシートを買い取る「赤ちゃん応援自販機」も設置すべきでは。

A

「赤ちゃんの駅」として登録されている市の247施設のうち、95施設ではおむつ交換のみが可能で、授乳場所はない。公園などの屋外施設では授乳場所の設置が困難であるが、その他の屋内施設には、組立式の授乳室の活用も含め可能な限り授乳場所を確保するよう改めて施設管理者に働きかけていく。また、「赤ちゃん応援自販機」の設置については、「あいぱれつと」などにモデル的に導入し、利用状況やニーズを把握し、他の施設への導入を検討していく。

\* 相談支援専門員

障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、支援の方針や障がい福祉サービスなどの利用計画の作成など、一般的な相談支援を行う専門職。



## 教育・文化

学校での適切ないじめ対応  
積極的な認知から

Q

いじめを積極的に認知することは、その対応の第一歩であり、いじめ防止対策推進法が機能するための前提である。本市のいじめ防止の取組みについて伺う。

A

いじめ防止対策推進条例に基づき手引を作成し活用している。具体的な取組みとして、各学校から毎月提出される報告書で状況を把握し、学校訪問により助言・指導を行っているほか、いじめの早期発見や組織対応などの校内研修を重ねている。また、子ども主体のいじめ撲滅キャンペーンなども実施しており、これらにより多くの学校はいじめを積極的に認知し組織対応をしていると考えるが、対応が遅れたケースがあることも認識している。子どもたちに寄り添い、学校からいじめをなくす決意で日々の教育活動に当たっていく。

旧岩槻給食センター跡地に  
地区公民館の建設を

Q

旧岩槻学校給食センターは令和4年秋には更地になる。その跡地への地区公民館建設の要望書が地元の自治会連合会から繰り返し提出されているが、市の見解を伺う。

A

旧岩槻学校給食センターは、現在解体工事中に着手し、跡地利用の検討を進めている。この跡地について、令和3年10月に河合地区自治会連合会から公民館建設の要望をいただいた。市公共施設マネジメント計画では、周辺のコミュニティ関連施設の整備水準を勘案して検討することとしており、同給食センター跡地や同地区内の地区公民館の整備は、岩槻区全体の公民館の配置バランスや他施設との複合化などを勘案し、研究を進めていきたい。

ストリートピアノの活用で  
身近に音楽のあるまちに

Q

市民が参加できる文化活動として、ストリート



人々が自由に奏でるピアノの音色が  
いつもの街並みに彩りを添える

トピアノの全区への常設と、ピアノの貸出事業により、市民がいつでもどこでも音楽に親しめるようにしてはどうか。

A

ストリートピアノは身近な場所で文化芸術に触れられる取組みと考えており、市内でも市民団体などによりいくつか展開されている。常設を検討してほしいなど好意的な意見が多い一方、騒がしいなど批判的な意見もある。今年度内に実証実験を実施できるよう調整を進めており、来年度には市内の複数箇所で開催できるよう検討していく。ストリートピアノの貸出事業については、保管・運搬・調律にかかる費用などの

課題もあり、今後事例調査なども含め研究していきたい。



## 経済・産業

岩付城主・太田資正を巡る  
案内板を各所に設置しては

Q

戦国時代の岩付城主・太田資正の生誕500年祭が2月に岩槻区で開催される。ゆかりの地は他の区にも多くあるため、市内周遊の仕掛けとして、案内板を設置しては。

A

本市の歴史・文化にゆかりのある方々には、日本近代漫画の先駆者である北沢楽天、円乗院を創建した畠山重忠、遷喬館を創設した児玉南柯など数多くいる。これらの方々については、関係施設とともに、市内を周遊する「半日観光ルート」の観光スポットとして紹介しており、本市への誘客につながる有効な手段と認識している。今後、太田資正や本市ゆかりの他の方々について、案内板の設置を含め、観光資源としての活用を研究していきたい。



まちづくり・環境

閉鎖される沼影市民プール  
代替プールの建設は

Q

\*義務教育学校建設に伴う沼影市民プールの閉鎖が発表された。至急代替地を探し、屋外レジャープールや室内プールを切れ目なく作る必要があるが考えるが、見解は。

A

市の5つのレジャープールの今後の在り方については、市全体での再編も視野に入れ詳細に検討していく。その中で、沼影市民プールの移転の可能性について、費用対効果や地域バランスなどを精査し、代替地も含め、市民の意見を丁寧に向いながら検討を進めていく。室内プールについては、学校整備に伴い解体される沼影小学校敷地の一部に整備するスポーツ施設への導入を検討している。代替地の用地交渉や解体スケジュールなどを調整することで、プールを利用できない期間を少しでも短くできるように、庁内で連携し検討している。

安全な水を安定供給するため  
計画的で効率的な経営を

Q

水道事業は老朽水道施設の更新・維持管理や危機管理対策など、水需要の増加に伴わないものが主体となっている。事業運営における財源確保について、見解を伺う。

A

本市の水道事業では、老朽施設の大規模更新や耐震化を進め、災害時に安定した給水を確保するためにも、計画性の高い運営が必要である。施設更新に係る資本的収支では毎年100億円超の不足が生じ、この不足額には企業努力で生み出した純利益を充当している。現時点では健全な財政状況を維持しているが、今後は経営基盤の強化が重要な課題となる。適正な財政とバランスのとれた施設整備を進め、安全で強靱な水道事業を持続していきたい。

子どもたちに  
豊かな遊びとの出会いを

Q

豊かで充実した遊び場である\*プレイパーク

を市内にもっと増やすべき。新たに開設する場合や移動型のプレイパークを実施する場合の市の対応方法について伺う。

A

現在、市と指定管理者と運営団体の協定により実施している「別所沼プレイパーク」では、通常の公園ではできない火を使った遊びなども認められている。新たに常設または移動型のプレイパークを公園内で行おうとする場合は、都市公園条例の範囲内での活動であれば、指定管理者との協議による行為許可制度の手続きが必要となる。一方、別所沼プレイパークのようにたき火など条例で禁止されている活動を行う場合は、公園

いつもの公園がより豊かな遊び場となり  
子どもの自主性や冒険心も育まれる



管理者を窓口とし、活動場所や内容について相談・支援をしていきたい。

大宮駅GCS化構想への  
現在の市長の思いは

Q

構想では、新たに推進戦略会議を設けて有識者などから幅広く意見聴取しているが、多額の費用と20年近い期間を要するこの事業に対しての市長の思いを伺う。

A

大宮駅GCS(グランドセントラルステーション)化構想については、令和3年9月に「大宮GCS推進戦略会議」を開催し、早期事業化に向け検討を進めている。市としては、地元での検討を支援し、駅前広場など主要な都市施設の早期事業化を図ることで、東日本の玄関口として対流拠点機能の強化に向けて積極的に取り組み、大宮のポテンシャル向上に努めていく。市長として今まで以上にリーダーシップを発揮し、官民連携を持って各計画を着実に推進していきたい。

\*プレイパーク(冒険遊び場)

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、禁止事項をなるべく少なくし、子どもたちの想像力により工夫して遊びをつくり出すことのできる遊び場。

\*義務教育学校

小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校。9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定することなども可能となっている。



国道17号の渋滞解消のため  
早期の4車線化実現を

**Q** 上落合交差点以北の国道17号は慢性的な渋滞区間で、旧市時代から渋滞解消が望まれている。近隣にバスターミナルの計画もあるため、早期の4車線化が必要ではないか。

**A** 国道17号の与野大宮道路のうち、下落合交差点から上落合交差点までの区間は、現在国で整備を進めているが、上落合交差点から北側の区間は未着手である。この区間は、慢性的な渋滞を緩和する上で重要な路線であり、また、大宮駅西口周辺においてバスターミナルの検討が進められている状況を踏まえると、本路線の整備はより重要になると考えている。

引き続き、事業中の区間の早期完成と未着手区間の早期事業化を国に強く要望していく。

バス停にベンチを設置し  
高齢者が外出しやすい環境を

**Q** 高齢者が立ってバスを待つことはとても辛い。

公共交通であるバスは市民の大切な足  
誰もが移動しやすいまちづくりが望まれる



北与野駅北口駅前広場にはベンチのないバス停もあるため、市独自でベンチを設置すべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 市バリアフリー基本構想では、駅前広場のバリアフリー整備の取組方針に、だれもが快適に利用できるベンチの設置を位置付けており、今後も施策の推進に積極的に取り組んでいく。駅前広場のバス停にベンチを設置することについては、広場の新設・改築の際には道路状況や歩道幅員などを考慮して検討している。北与野駅北口駅前広場には現在改築の予定はないが、基本構想に位置付ける重点整備地区におけるバリア

フリー経路であることから、地域住民の声を踏まえつつ、現地の状況を確認し、ベンチ設置を検討していく。

地域住民の思いを生かした  
西浦和駅周辺のまちづくりを

**Q** 新大宮バイパス東西の横断性向上をまちづくりの方針に加えるとともに、駅南口広場などの基盤整備は行政が担い、駅前商店街は再開発事業として進めていくべきでは。

**A** 地元団体を中心に策定された市民案を踏まえ、市として西浦和駅周辺まちづくり方針案を策定した。道路の幅や駅南側の広場とアクセス道路の整備については、田島団地の再生事業とも連携し、市が中心となり検討していく。駅前再開発事業によるまちづくりについては、地元の意向を丁寧に向いながら市として可能性を検討していきたい。新大宮バイパスの横断性向上は市民案でも提案され要望も強いことから、方針案に盛り込み、今後関係機関と協議していく。

中央区の公共施設再編  
周辺地域もデジタル化を

**Q** 中央区役所周辺の公共施設再編事業は施設の建替えだけでなくエリア全体のまちづくりである。エリア全体のデジタル化を推進すべきと考えるが、市の見解は。

**A** 本事業にはデジタル技術の急速な発展などの社会情勢の変化を考慮し、整備を進めることが必要不可欠と考える。デジタル化の推進については、国の動向や技術の進歩などに注視しつつAIなどを積極的に活用し、エリア全体で市民や事業者などの利便性を向上させるべく幅広く検討していきたい。今後、整備の方向性などを定めるに当たり、特にデジタル化や環境面で先進的な民間事業者や研究機関などから提案を受け、検討を進めていきたい。

禁煙化でポイ捨てをなくし  
きれいで安全な公園を

**Q** 公園内でのたばこのポイ捨てが多い。喫煙者



小さな子どもたちも利用する公園での  
たばこのポイ捨てが問題となっている

の権利に配慮しつつも、市は都  
市公園内の禁煙化に本格的に取  
り組むべきである。現在の検討  
状況と今後の方針を伺う。

**A** 令和3年の市民意識調  
査では「公園内は全面  
禁煙にした方がよい」との回答  
が速報値で54%あり、禁煙化に  
対する市民意識の高まりが伺え  
る。また、近隣都市へのアンケ  
ートでは「公園内の全面禁煙化  
を実施済」との回答が多い一方、  
「公園のみの規制では、規制のな  
い道路などで喫煙されてしまう」  
といった課題も把握した。これ  
らの結果も踏まえ、都市公園の  
禁煙化を目指し、今年度内に対  
応方針を取りまとめ、より効率

的な制度構築に向け検討を進め  
ていきたい。

**新都城周辺住民の悩みの種  
効果的なムクドリ対策を**

**Q**

新都城駅東口付近のム  
クドリによる騒音・糞  
害対策の強化を。ケヤキの剪定  
をはじめ自治体間での情報共有、  
AI技術やLED照射装置を活  
用しての対策を求める。

**A**

新都城周辺のケヤキ  
に集まるムクドリには、  
ケヤキがねぐらとならないよう  
枝を強めの剪定で対処している。  
光での対策は音での対策と比べ  
周囲を気にせず行えるものの、  
隣の木に移動したり照射をやめ  
ると再飛来するなどのケースも  
あると伺っている。引き続きケ  
ヤキの剪定などを進めるとも  
に、光による対策の効果的な利  
用を含め、新技術を活用した対  
策について他自治体の事例も参  
考に検討していく。また、県や  
周辺自治体とムクドリ対策の情  
報を共有している庁内部署とも  
連携し、広域的・効果的な防除  
対策を研究していく。

さいたま市議会からの

お 知 ら せ



市議会テレビ広報番組「ようこそさいたま市議会へ」をご覧ください

市議会の活動状況などをわかりやすく紹介する番組を、年4回、毎定例会  
後にテレビ埼玉で放送しています。また、市議会ホームページやYouTube  
では、過去の放送分も動画配信しています。ご意見・ご感想をお寄せいた  
いた方には、抽選でプレゼントもありますので、ぜひご覧ください。  
※放送日時など、くわしくは秘書総務課(Tel.829-1748 Fax.829-1984)へ  
お問い合わせください。



さいたま市議会 テレビ 検索

「ロクマル」デイジー版・点字版  
を発行しています

視覚障がいのある方に市議会の情報をお伝えするた  
め、「市議会だよりさいたま(ロクマル)」の内容をCDに  
音声収録したデイジー版を発行しています。また、点字  
版も発行していますので、ご希望の方は秘書総務課  
(Tel.829-1748 Fax.829-1984)までご連絡ください。

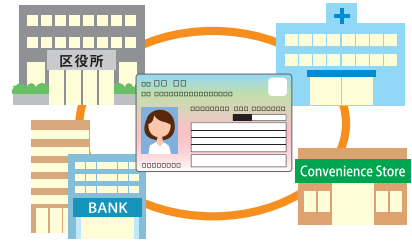
傍聴の手話通訳・要約筆記を  
行っています

聴覚障がいのある方が本会議・委員会を傍聴する場合、  
事前予約により手話通訳者または要約筆記者を配置し  
ます。ご希望の方は傍聴予定日の7日前までに議事課  
(Tel.829-1753 Fax.829-1984)までご連絡ください。



ロクマル キーワード  
**Keyword**

12月定例会の中から気になる言葉を取り上げ、解説します。



『マイナンバーカード』

日々の生活に役立つ便利なカード

マイナンバーカードには、マイナンバー（個人番号）のほか、氏名・住所・生年月日・性別や顔写真などが記載され、公的な本人確認書類として利用できます。また、カードに搭載された電子証明書を利用し、住民票や印鑑登録証明書などのコンビニなどでの取得、オンラインでの確定申告、健康保険証としての利用なども可能となります。さらに、スマートフォン専用アプリを使用した新型コロナワクチン接種証明書（電子版）も利用できるようになりました。

カードを取得しやすい環境づくり

本市のマイナンバーカードの申請率は52.3%（令和3年12月19日時点）で、今後も多くの申請が見込まれます。そのため、マイナンバーカードの積極的な広報などに加え、駅や商業施設などでの出張申請サポートも行っています。また、区役所では円滑にカードが取得できるよう努めるとともに、健康保険証としての利用登録などの支援も行っています。国では、運転免許証との一体化なども検討されており、今後も様々な場面での活用が期待されています。

編集後記

議会広報編集委員会

今号のトピックスでは、小学生の議会見学の様子をお届けしました。興味津々で議場や議長室などを見学する児童の生き生きとした表情が特に印象的でした。未来ある子どもたちにとって、市議会を身近に感じられる機会となり、主権者教育にも寄与できれば幸いに思います。

厳しい寒さはまだまだ続きますが、表紙に描かれたサクランウやサクラの咲く季節はもうすぐそこまで来ています。体調管理にご留意のうえ、健やかにお過ごしください。

[委員長] 議長 島崎 豊 [副委員長] 副議長 松下壮一

[委員] 松本 翔 出雲圭子 鳥羽 恵  
川崎照正 関ひろみ 小川寿士  
金井康博 吉田一志 都築龍太

さいたま模様



今号の表紙は

桜区

- サクラソウ ● サクラ
- 秋ヶ瀬公園の野鳥 ● 電波塔

桜区は、田島ヶ原サクラソウ自生地や秋ヶ瀬公園など、荒川の広大な流れに育まれた豊かな自然環境に恵まれています。河川敷にそびえ立つ高さ約173mの電波塔は、地元では“新開タワー”とも呼ばれ、桜区のランドマークとして親しまれています。

次の定例会は  
**2月1日(火)～**

会期日程は、ホームページをご覧ください。くわしくは議事課 (Tel.829-1753)までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

開催日当日、議会棟3階で受付しています。

※感染症対策にご協力をお願いします。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信（生中継）・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

※現在、区役所ロビーでの放映は行っておりません。



テレビ番組

「ようこそさいたま市議会へ」テレビ埼玉  
令和4年3月27日(日) 午前10時～ 放送予定  
過去に放送した番組も市議会ホームページで配信しています。

